

文部科学省委託事業

数学協働プログラム

【数学・数理科学と諸科学・産業との協働による
イノベーション創出のための研究促進プログラム】

本プログラムは全国の数学・数理科学研究者と諸科学・
産業界の研究者が集中的・継続的に議論する場を提供
することにより、数学・数理科学と諸科学・産業の協働
による具体的課題解決に向けた研究を促進することを
目標としています。

統計数理研究所は数学協働プログラムの中核機関と
して、全国の8協力機関*との連携のもと、様々な業務
を行っています。

*協力機関

北海道大学数学連携研究センター、東北大学大学院理学研究科
東京大学大学院数理科学研究科、明治大学先端数理科学インスティテュート
名古屋大学大学院多元数理科学研究科、京都大学数理解析研究所、
広島大学大学院理学研究科、九州大学マス・フォア・インダストリ研究所

<http://coop-math.ism.ac.jp/>

数学協働プログラム

数学協働プログラム (Coop with Math Program)

統計数理研究所は協力機関(表面参照)との連携のもと、研究人材やネットワーク、過去の活動実績等を活かし、数学・数理科学的な知見の活用による解決が期待できる課題の発掘から、諸科学・産業との協働による問題解決を目指した研究の実施を促進するため、以下の活動を実施しています。

- ワークショップの公募・審査・実施
- 作業グループの設置・活動
- 情報の収集と共有・発信
- スタディグループの実施
- 諸科学・産業向けチュートリアルの実施



スタディグループ: 活動の様子

代表

樋口 知之

統計数理研究所長



実施責任者

伊藤 聡

統計数理研究所 教授



平成 19 年度の JST 戦略的創造研究推進事業「数学と諸分野の協働によるブレークスルーの探索」領域の設置、また平成 22 年度から始まった文部科学省と大学等の共催による「数学・数理科学と諸科学・産業との連携研究ワークショップ」等により、数学・数理科学と諸科学・産業との協働による研究推進の気運が高まってきたことを受けて、数学協働プログラムは平成 24 年 11 月に開始されました。科学技術の共通基盤の充実・強化のための重要課題として、数理科学を含む領域横断的な科学技術の強化は第 4 期科学技術基本計画においても謳われているところです。統計数理研究所は、本プログラムの実施にあたって、外部有識者により構成される運営委員会を設置し、関連学会・大学等や諸科学・産業界の意見を運営に反映できる体制のもと、8 協力機関と緊密に連携しながら、諸科学・産業との協働による研究活動が我が国に定着し、積極的かつ自発的に拡大していくような基盤を形成することに貢献していきます。



若山 正人

九州大学 副学長 /
マス・フォア・インダストリ研究所長

諸科学分野や産業界と連携することにより、数学が人類・社会に大きく貢献する機会を得、同時に新しい数学研究

を育むことが期待できます。演繹的考察と帰納的推論を縦横に駆使して具体と抽象を往来しながら概念を深化させる数学・数理科学を活かした研究が、高性能計算機を得た今日、ますます広がりを見せ重要性をましています。その促進と期待に応えるために、日本全国の数学・数理科学コミュニティを横断する本数学協働プログラムの活動がより高まり、新しい研究の開拓と社会のさまざまな課題の解決に役立っていくことを願っています。

(科学技術・学術審議会・先端研究基盤部会・数学イノベーション委員会主査)

小谷 元子

東北大学 原子分子材料科学高等研究機構長



数学はイノベーションの源泉です。諸科学・産業と出会うことで数学自体も学問として発展し、同時に諸科学・産業にもブレークスルーを引き起こそう、と世界中が急速に盛り上がっています。数学協働プログラムは、このような潮流にベストタイミングで応え、日本国内に数学と諸分野・産業との連携拠点をネットワーク型で形成しようという取組です。萌芽的な協働はすでにあちこちで始まっています。このような個々の力を全体に活かすため、実績を目に見える「形」にするための拠点を作りたいと考えています。

(科学技術・学術審議会委員)

<http://coop-math.ism.ac.jp/>

Twitter: @CoopMath

お問合せ先: 数学協働プログラム事務局

統計数理研究所 / 〒190-8562 東京都立川市緑町10-3

Tel: 050-5533-8472 E-mail: coop-math-sec@ism.ac.jp